

会議名	令和4年度板橋区AIP推進協議会
開催日時	令和5年1月19日（木曜日）午前10時から12時
開催場所	板橋区役所 南館4階 災害対策室
出席者	<p>[委員16人]（敬称略）</p> <p>和気会長（明治学院大学） 鈴木陽一副会長（板橋区医師会） 村山委員（東京都健康長寿医療センター） 小林委員（板橋区歯科医師会） 皿澤委員（板橋区薬剤師会） 藤原委員（板橋区柔道整復師会） 角田委員（板橋区介護サービス全事業所連絡会） 坂本委員（板橋区社会福祉法人施設等連絡会） 鈴木優子委員（板橋区訪問看護ステーション会） 鈴木穰委員（板橋区舟渡地域包括支援センター） 高野委員（板橋区民生・児童委員協議会） 阿部委員（板橋区老人クラブ連合会） 相田委員（板橋区社会福祉協議会） 廣瀬委員（ボランティア・市民活動学習推進センターいたばし） 辻村委員（公募委員） 篠田委員（板橋区健康生きがい部長）</p> <p>[行政関係職員10人]</p> <p>長寿社会推進課長、長寿社会推進課医療介護連携担当係長、介護保険課長、国保年金課長、健康推進課長、健康推進課保健政策係長、おとしより保健福祉センター所長、赤塚福祉事務所長、住宅政策課住宅政策推進副係長、生涯学習課長</p> <p>[事務局7人]</p> <p>おとしより保健福祉センター管理係長、地域ケア推進係長、介護普及係長、介護予防係長、特別援護係長、地域ケア推進係2人</p>
会議の公開（傍聴）	公開（傍聴可）
傍聴者数	2人
次第	<p>令和4年度板橋区AIP推進協議会</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 委員委嘱式 2 板橋区健康生きがい部長挨拶 3 会長・副会長の選出 4 各委員の自己紹介

	<p>5 板橋区版AIPの現状と今後の取り組みについて（説明・協議）</p> <p>（１）本年度の取組状況の報告について</p> <p>（２）第９期介護保険事業計画策定について</p> <p>（３）社会保障審議会介護保険部会の意見について</p>
配布資料	<p>【資料１】 板橋区AIP推進協議会要綱</p> <p>【資料２】 板橋区の各地域ケア会議とAIP推進協議会について</p> <p>【資料３】 板橋区版AIP7つの分野と重点事業</p> <p>【資料４】 事業概要説明</p> <p>【資料５】 事業一覧</p> <p>【資料６】 重点事業進捗一覧</p> <p>【資料７】 一般事業進捗一覧</p> <p>【資料８】 高齢者を対象としたICTを用いた事業調査</p> <p>【資料９】 板橋区在宅医療・介護情報共有システム（ICT）ガイドライン（案）</p> <p>【資料10】 高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定検討部会の設置について</p> <p>【資料11】 高齢者保健福祉・介護保険事業計画策定スケジュール（案）</p> <p>【資料12】 介護保険制度の見直しに関する意見</p> <p>【資料13】 介護保険制度の見直しに関する意見（概要版）</p> <p>【資料14】 委員名簿</p>
議事内容	<p>1 委員委嘱式</p> <p>2 板橋区健康生きがい部長挨拶</p> <p>3 会長・副会長の選出 委員の互選により、会長が明治学院大学の和気委員に決定した。副会長は会長の指名により、板橋区医師会の鈴木陽一委員に決定した。</p> <p>4 各委員の自己紹介</p> <p>5 板橋区版AIPの現状と今後の取り組みについて（説明・協議）</p> <p>（１）本年度の取組状況の報告について 板橋区版AIPの構築に向けた重点事業の取組状況（資料６）をおとしより保健福祉センター所長から説明し、協議した。</p> <p>（主な意見）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活支援体制整備事業は18圏域それぞれに特色があると思うので、それらのニーズを上手く汲み取って進めていただきたい。 ・10の筋トレが始まって数年経過して、効果があることはほぼ間違いないと思っている。評価がついてくるとエビデンスの強いものになって、全国に発信していけるので、その辺りに取り組んで

	<p>いただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症が進行すると、歯科治療することが難しくなるので要介護認定を受けた段階で、歯科を受診していただくような仕組みづくりをしていただきたい。 ・医療介護連携情報共有システムの使用について、保健所に難病届けをして人工呼吸器を使っている場合に限定する等、比較的少人数で始めることを検討していただきたい。 ・医療介護連携情報共有システムの使用における個人情報の扱いについて、年に1回関係者にガイドライン講習会の受講を義務化する等を検討していただきたい。 ・認知症施策に関してコロナ禍で一時できないものもあったが、会議についてはウェブを併用する等して元の形に戻りつつある。 ・民生児童委員の欠員が問題となっている。お互いに補助しながら何とかやっているが、制度がなくならないためにも、行政の方からも補助していただきたい。 ・基盤整備は圏域ごとの状況に応じた設置状況があると思うので、バランスの良い計画策定をお願いしたい。 ・広報紙の発行頻度を増やすことを検討していただきたい。 <p>(2) 第9期介護保険事業計画策定について 資料10・資料11をもとにおとしより保健福祉センター所長から説明した。</p> <p>(3) 社会保障審議会介護保険部会の意見について (主な意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・室内の温度によって要介護になる年齢に影響があるという研究もあるので、介護保険の住宅改修について、ニーズに応じて少し裁量的に解釈の余地を広げるということを考えていただきたい。 ・介護現場の生産性向上について、センサーを使う等して人をできるだけ少なくできないか検討しているが、限界がある。 ・介護の専門職が文書作成等の事務作業に時間が割かれているので、ICTの導入等により省力化して本来の仕事に専念できるような環境を作らなければいけない。
<p>所管課</p>	<p>健康生きがい部おとしより保健福祉センター地域ケア推進係 電話：5970-1114</p>